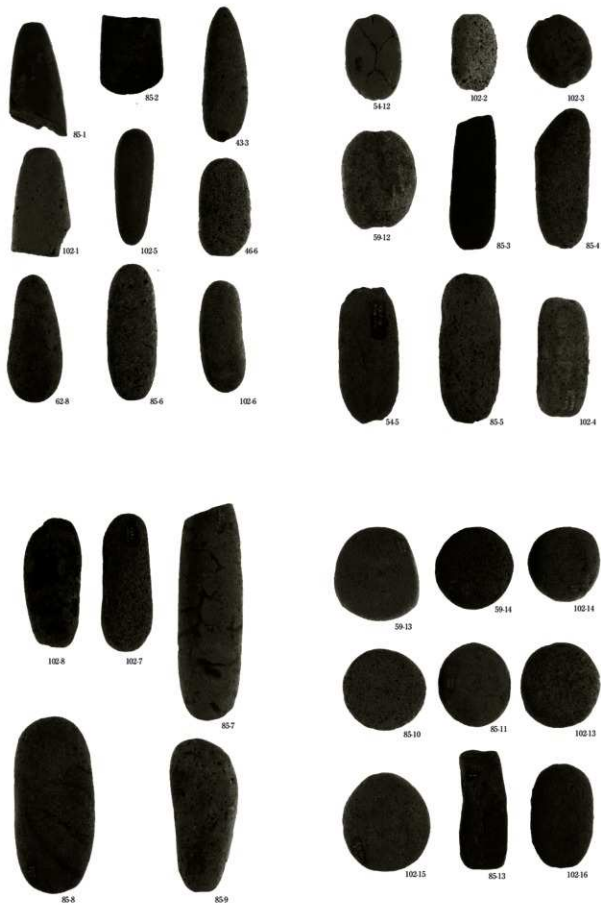
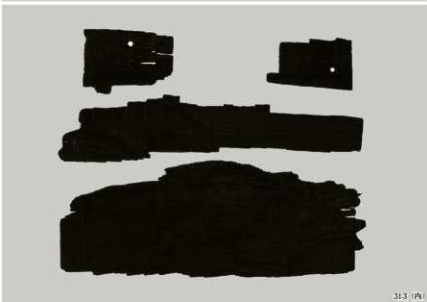


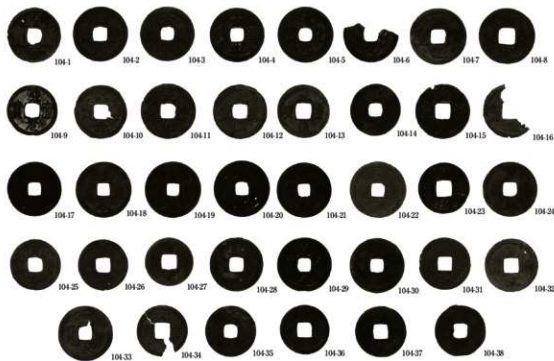
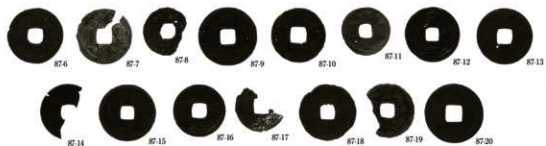
図版第五八
遺物











報 告 書 抄 録

ふりがな	しだじんでんいせき							
書名	志田神田遺跡							
副書名	中部縦貫自動車道建設事業に伴う調査 8							
巻次								
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第107集							
編著者名	坪田聡子・清水孝之・田中勝之・木村孝一郎・早瀬亮介・土谷崇夫							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL 0776-41-3644							
発行年月日	西暦2009年03月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	°′″	°′″			
しだ 志田	ふくいけんかつやまし 福井県勝山市	18421	04041	36° 06′ 29″	136° 46′ 75″	19991101 ～ 20040715	33.580	中部縦貫自動車道建設
しんでんいせき 神田遺跡	しかたにちようしだ 鹿谷町志田							
遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
志田神田 遺跡	集落	縄文時代 弥生時代 平安時代 中世 近世	掘立柱建物 井戸 土坑 鹿谷川旧流路	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器 陶磁器 石器・石製品 木製品・堅果類 金属製品・銅銭		鹿谷川右岸の緩傾斜地に立地する集落遺跡である。		
要約	<p>弥生時代から近世まで断続的に営まれた集落遺跡である。検出した掘立柱建物の多くは平安時代に属し、集落の南端を通る鹿谷川旧流路からは墨書や漆書された土器のほか風字硯などが出土している。また、鹿谷川旧流路の肩部付近では、トチヤクリなどの堅果類を流水に晒していたと考えられる土坑8基が流路の曲線に沿って並んで出土した。このうちの1基からは赤彩された組み合わせ式布巻具（木製品）と弥生時代中期後葉の壺の破片が出土している。</p>							

福井県埋蔵文化財調査報告 第107集

志田神田遺跡

— 中部縦貫自動車道建設事業に伴う調査 8 —

平成21年3月18日 印刷

平成21年3月31日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒910-2152 福井市安波賀町4-10

印刷 株式会社 松浦印刷所

〒912-0022 大野市陽明町2-401
